

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000670
事業所名	グループホームつばさ吉原

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	ホーム周辺の散歩を日課とし、「挨拶」から地域交流が始まっている。玄関には、中学生から寄贈された千羽鶴が飾られている。参加できなかったが、自治会長から地域のスポーツフェスティバルに招待されている。地域住民から入居の問い合わせなどもあり、地域の認知度は高まっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議は、会議名を「いきわく会議」とし、法人理念の「いきいきわくわく」したホーム運営になぞらえている。地域包括支援センター、自治会長、民生委員が参加して、対面で運営推進会議を開催している。自治会長・民生委員からは、地域防災での連携や公民館フェスティバル(地域文化祭)への参加要請なども出されている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	消防計画は、直接窓口で提出している。運営推進会議議事録を提出し、ホームの運営状況は地域包括支援センターを通じて伝えている。助成金を活用してタブレット導入を予定するなど、サービスの向上を図っている。介護相談員の受入れ準備はできているが、まだ介護相談員の来設はない。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	面会時や電話連絡時に、家族意見の聞き取りを行っている。利用者の近況を詳細に伝えることで、意見の出しやすい環境づくりに努めている。面会や外食の再開などの要望が出され、法人内で検討されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	-	○	○								